

平成29年度

ほおの木っ子

喜多方市立第二小学校 学校だより
平成29年10月3日(火) 第9号
発行責任者 校長 石田 秀喜

< 笑顔いっぱい/元気いっぱい/夢いっぱい ~やり続けて本物にしよう・こつこつがコツ!~>

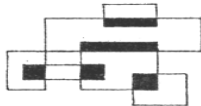
木は寸法で組まず 癖で組む

「1200年前に建てられ、今も美しさを持ち続けている法隆寺からさまざまな先人の技と知恵を教わってきました。職人は、一つ一つの材料の違うものを前にして、どうするかを経験と勘で判断します。」



法隆寺の金堂や薬師寺伽藍などの復興や再建を果たした宮大工の西岡常一さんの話です。

それによると、木は生育の方位のままに使うということで、南に生えた木は南側に、北に生えた木は北側に使うのだそうです。また、堂塔の木組みは、寸法で組まず木の癖で組むということです。左にねじれを戻そうとする木と右にねじれを戻そうとする木を組み合わせ、癖を封じて全体の歪みを防ぐということです。



人も木の一本一本と同じようにそれぞれ皆違って、それぞれのすばらしい個性を持っています。本校では、「ほめ言葉のシャワー」という取組を数年前から継続しています。一人一人のよいところをクラスみんなで見つけ、その日の主人公の子どもが、一日の最後に、

友達や教師から「ほめ言葉のシャワー」を浴びるという活動です。

授業においても、互いの考えを出し合い、練り合いながら、いろいろな課題について協働して解決していくといった学習活動を大事にしています。

374名の子どもたちの一人一人に個性があり、よさがあります。それらを学習や生活の場で大いに発揮し、磨き合うことを大事にしながら引き続き教育活動を展開していきます。

PTA 奉仕作業 ありがとうございました



一昨日は、早朝より奉仕作業においでいただき、ありがとうございました。



蛍光灯や窓ガラスをきれいにいただいたおかげで教室がとても明るくなりました。

また、トイレも普段なかなか子どもたちだけでは落とし切れない汚れを取っていただき、とてもきれいになりました。

児童・保護者・教職員がみんな力で合わせて環境美化に取り組んでいる姿に感動しました。

第24回公開授業研究会

～10月6日(金)～

本校では、「自ら学び、考える力を伸ばす授業の創造～学ぶ喜びを味わわせる 子ども主体の学び合いを通して～」という研究テーマのもと、様々な工夫をして授業づくりに努めています。

その取組の様子を市内外の先生方に公開をするもので、今回で24回目を迎えます。

子どもたちは本来、学びたいという思いを持ち、友達と学び合う力を持っています。私たち教師がそれをいかに引き出し、伸ばすかを毎日の授業の中で追究しています。

